

江別市DX推進方針進捗状況一覧

資料4 基本方針①

【 基本方針 : ①市民の日常生活を豊かに 】			R 5年度実績 R 6年度計画	R 6年度実績 R 7年度計画	R 7年度実績 3カ年総括	担当課
No	取組事項	内容				
1	自治会活動のデジタル化	市内の自治会と連携を図り、電子回覧板やオンライン会議の開催など、地域の実情に合わせたデジタル化を支援する。	【令和5年度実績】（検討フェーズ） ・LINE公式アカウントの作り方や自治会のデジタル化をテーマとした研修会の開催 ・自治会回覧で配布している書類をデータで自連協ホームページに掲載し、電子回覧を促進 検討 実証 ・Logoフォームを使った研修会等の申込方法の追加 【令和6年度計画】（実証フェーズ） ・新しくなった自連協ホームページの新機能の説明や活用方法についての研修会を開催 ・自治会回覧で配布している書類をデータで自連協ホームページに掲載し、電子回覧を促進 ・Logoフォームを使った研修会等の申込方法の追加 ・道町連共済掛金徴収の電子決済化を試行的に実施	【令和6年度実績】（実証フェーズ） ・自連協HPの新機能やデジタル活用の研修会開催 ・自治会回覧の電子化促進 ・研修会申込方法等のデジタル化 ・道町連共済掛金の電子決済試行 【令和7年度計画】（一部実施フェーズ） ・自治会のデジタル化に関する研修会開催 ・自治会回覧の電子化促進及び市公式LINEの更なる活用 ・研修会申込方法等のデジタル化 ・道町連共済掛金の電子決済の本運用開始	【令和7年度実績】（一部実施フェーズ） ・自治会のデジタル化に関する研修会開催 ・自治会回覧の電子化促進 ・研修会申込方法等のデジタル化 ・道町連共済掛金の電子決済の本運用開始 【3カ年総括】 研修会を通じたデジタル活用の普及から始まり、電子回覧の促進やLogoフォームによる申込受付の導入を経て、最終的には共済掛金の電子決済の本運用開始へと段階的にデジタル化を推進した。	市民生活課
2	情報発信のデジタル化	HPや市LINE公式アカウントをはじめとする各種SNSを活用し、市政情報をはじめ、防災情報や生活に関する情報を発信する。	【令和5年度実績】（実施フェーズ） ・Facebook、X、LINE公式アカウント、Instagramを活用し、市政情報を計15,031回発信した。 ・R5.7からUHB(8ch)の地デジ広報サービスを利用開始。デジタル環境が身近にない方を想定し、R6.3までに84件の市政情報を発信した。 ・市HPにおいて5,455回の情報発信を行った。 【令和6年度計画】（実施フェーズ） ・引き続き、市HP、各SNS、地デジ広報サービスを活用し市政情報を広く周知する。 ・市政情報をより広く伝えられるよう、SNSのフォローワーや友だち登録の増に努める。	【令和6年度実績】（実施フェーズ） ・市HP、SNS、地デジ広報サービスを活用した市政情報の発信継続 ・SNSのフォローワーや友だち登録の増加による情報発信力強化 ・イベント・会議でのチラシ配布 ・自治会回覧でのチラシ掲載 ・広報誌の特集による詳細な紹介 【令和7年度計画】（実施フェーズ） ・市HP、SNS、地デジ広報サービスを活用した市政情報の発信継続 ・SNSのフォローワーや友だち登録の増加による情報発信力強化 ・イベント・会議でのチラシ配布 ・自治会回覧でのチラシ掲載 ・広報誌の特集による詳細な紹介	【令和7年度実績】（実施フェーズ） ・Facebook、X、LINE公式アカウント、Instagramを活用し、市政情報を計15,067回発信した。 ・デジタル環境が身近にない方を想定した地デジ広報サービスを活用し、市政情報を78回発信した。 ・市HPにおいて4,595回の情報発信を行った。 【3カ年総括】 SNS（Facebook、X、LINE、Instagram）、市HP、地デジ広報サービス活用等、多様な媒体を組み合わせた情報発信を3年間継続。フォロー増による発信力強化や紙媒体（チラシ等）との併用により、周知の徹底を図った。	広報広聴課
3	公共交通のデジタル化	AIを活用したデマンド交通やバスの運行状況の可視化など、市民の利便性向上に寄与するデジタル化を推進する。	【令和5年度実績】（検討・実証フェーズ） ・デマンド交通のデジタル化については、今後の利用者増やエリア拡大等に応じて研究、検討を進めていく。 ・バス事業者が導入しているバスロケーションシステムについて、バス路線マップの配布等により周知を図った。 【令和6年度計画】（検討・実証フェーズ） ・同上	【令和6年度実績】（検討・実証フェーズ） ・デマンド交通のデジタル化に関する研究・検討の継続 ・バスロケーションシステムの周知促進（バス路線マップの配布など） 【令和7年度計画】（検討・実証フェーズ） ・上記の取組を継続して実施	【令和7年度実績】（検討・実証フェーズ） ・デマンド交通のデジタル化に関する研究・検討の継続 ・バスロケーションシステムの周知促進（バス路線マップの配布など） 【3カ年総括】 デマンド交通のデジタル化に向けた継続的な研究・検討を行うとともに、バスロケーションシステムの周知（路線マップ配布等）を継続し、利便性向上を推進した。	公共交通担当
4	母子手帳のデジタル化	子どもの発育を細やかに記録できるような母子手帳の電子化を進める。	【令和5年度実績】（一部実施フェーズ） ・電子母子手帳アプリ開発予定の企業の資料を読み込み、改善点、要望を伝達。 ・開発途中の電子母子手帳アプリについて、デザイン、操作性の確認。 【令和6年度】（実施フェーズ） ・電子母子手帳アプリの操作性、内容等を実機に確認。 ・電子母子手帳アプリの実用性、開発の有無等について検討。 →国の動向を確認する必要があることから、現時点での導入を見送る。 ・国の母子保健情報デジタル化に関する情報収集。	【令和6年度実績】（実施フェーズ） ・国の母子保健情報デジタル化に関する情報収集の実施 ・電子母子手帳アプリの操作性・内容の実機確認 ・実用性や開発の必要性についての検討 ・国の動向を踏まえ、現時点での導入を見送り 【令和7年度計画】（実施フェーズ） ・国の母子保健情報デジタル化に関する情報収集の実施 ・国の電子版母子健康手帳ガイドラインに基づく導入検討	【令和7年度実績】（実施フェーズ） ・国の母子保健情報デジタル化に関する情報収集の実施 ・国の電子版母子健康手帳ガイドラインの確認 【3カ年総括】 アプリの操作性確認や実用性の検討を重ねたが、国の動向やガイドラインを慎重に見極める段階にとどめ、適切な導入時期を検討するための情報収集に注力した。	保健センター
5	行政手続のオンライン化	窓口業務等で取り扱う申請・届出について、「いつでも」「どこでも」できるようなオンライン化を推進する。	【令和5年度実績】（実証フェーズ） ・L GWAN対応の電子申請システム（Logoフォーム）の活用 ・びったりサービスによる行政手続きのオンライン受付の実施 【令和6年度】（実証フェーズ） ・L GWAN対応の電子申請システム（Logoフォーム）の活用 ・びったりサービスによる行政手続きのオンライン受付の実施	【令和6年度実績】（実証フェーズ） ・L GWAN対応の電子申請システムの活用促進 ・びったりサービスを利用した行政手続きのオンライン受付の実施 【令和7年度計画】（実証フェーズ） ・上記の取組を継続して実施	【令和7年度実績】（実証フェーズ） ・L GWAN対応の電子申請システムの活用促進 ・びったりサービスを利用した行政手続きのオンライン受付の実施 【3カ年総括】 Logoフォームやマイナポータルの「びったりサービス」を活用し、オンライン受付の対象拡大し、市民の利便性向上を推進した。	行政デジタル化担当

江別市DX推進方針進捗状況一覧

資料4 基本方針②

【 基本方針 ： ②市政業務の効率化 】			R 5年度実績 R 6年度計画	R 6年度実績 R 7年度計画	R 7年度実績 3カ年総括	担当課
No	取組事項	内容				
1	情報システムの標準化・共通化	国が策定した標準仕様に準拠したシステムを導入することにより、発注・維持管理等にかかる事務負担の軽減を図る。	【令和5年度実績】（検討フェーズ） ・標準化準拠システム移行準備 ・既存ベンダー撤退業務のシステム移行検討	【令和6年度実績】（検討フェーズ） ・標準化準拠システムへの移行準備 ・既存ベンダー撤退に伴うシステム移行準備	【令和7年度実績】（実証フェーズ） ・標準化準拠システムへの移行準備（令和9年11月に延伸）	行政デジタル化 担当
2	A I ・ R P A の推進	A I を活用した議事録作成業務支援システムやR P A を導入することにより、庁内業務の効率化を図り、人的資源を行政サービスの向上に繋げる。	【令和5年度実績】（検討フェーズ） ・A I を活用して議事録作成業務支援システムの利用。	【令和6年度実績】（実証フェーズ） ・A I を活用した議事録作成業務支援システムの導入 ・生成A I の業務利用開始による文章作成支援	【令和7年度実績】（実証フェーズ） ・A I を活用した議事録作成業務支援システムの利用支援 ・生成A I の業務利用における文章作成支援	行政デジタル化 担当
3	ペーパーレス化	業務の効率化やコストの削減を目的に、日常業務において紙媒体で運用、保存しているものの電子化を進める。	【令和5年度実績】（検討フェーズ） ・消防水利の充足状況の確認を電子化し、印刷枚数の削減に努めた。（消防本部警防課） ・L P ガス価格高騰対策緊急支援金の申請方法を紙による申請に加えて、オンラインによる申請も可能とした。（経済部商工労働課）	【令和6年度実績】（実証フェーズ） ・グループウェアの「回覧・レポート」および「ワークフロー」を活用した供覧・決裁の試行 ・人事評価、セルフアセスメント、ストレスチェック Web版、研修アンケートの電子化推進	【令和7年度実績】（一部実施フェーズ） ・グループウェアの「回覧・レポート」および「ワークフロー」を活用した供覧、決裁の全庁試行 ・既存文書のスキャニング試行 ・休暇・手当関係届出書類の一部電子化 ・ペーパーレス会議の実施	総務部総務課
			【令和6年度】（実証フェーズ） ・グループウェアの「回覧・レポート機能」による閲覧及び決裁の実施している。（総務部試行） ・人事評価、セルフアセスメント、ストレスチェック Web版、研修アンケートなどの電子化を実施した。（総務部職員課）	【令和7年度計画】（一部実施フェーズ） ・グループウェアの「回覧・レポート」および「ワークフロー」を活用した供覧・決裁の全庁試行 ・既存文書のスキャニング試行 ・休暇・手当関係届出書類の一部電子化 ・ペーパーレス会議の実施	【3カ年総括】 - 特定業務の電子化から、グループウェアを活用した供覧・決裁の全庁的な試行、既存文書のスキャニング、ペーパーレス会議の実施へと、庁内のペーパーレス普及を段階的に推進した。	

江別市DX推進方針進捗状況一覧

資料4 基本方針③

【 基本方針 ： ③新たな価値の創造 】			R 5年度実績 R 6年度計画	R 6年度実績 R 7年度計画	R 7年度実績 3カ年総括	担当課
No	取組事項	内容				
1	オープンデータの推進	市民参加、官民協働による諸課題の解決や市政の透明性・信頼性の向上などを目的に、本市が所有する様々なデータを市民や企業等が利用しやすい状態で公開する。	【令和5年度実績】（実証フェーズ） ・既存の掲載データの更新を行った。	【令和6年度実績】（実証フェーズ） ・既存掲載データの更新を実施 - 地域年齢別人口 - 観光施設一覧 - AED設置場所 など	【令和7年度実績】（実証フェーズ） ○既存掲載データの更新を実施 ・地域年齢別人口 ・観光施設一覧 ・AED設置場所 など ○新規データの追加を実施 ・小中学校通学区域情報 ・教育機関一覧 ・投票所一覧	総務部総務課
			【令和6年度】（実証フェーズ） ・令和6年度末に、関係課に照会の上、既存のデータの更新を行う予定。	【令和7年度計画】（実証フェーズ） ・上記の取組を継続して実施	【3カ年総括】 既存掲載データ（人口統計、観光施設等）の定期的な更新を維持しつつ、最終年度には通学区域や投票所一覧などの新規データ公開も行い、データの有用性を高めた。	
2	生涯健康プラットフォームの推進	市と北海道情報大学で連携して実施してきた「食の臨床試験」や「健康カード」などの仕組みをデジタル化し、市民の健康管理を支援することで、健康寿命の延伸や医療費の適正化を目指すとともに、当該プラットフォームを他自治体に展開する。	【令和5年度実績】（実証フェーズ） ・スマートウォッチや健康管理アプリを活用した健康意識の醸成 ・健康フェスタ等のイベントやスマホ教室でのPR	【令和6年度実績】（実証フェーズ） ・他自治体への展開・マーケティングを担う実装協議会の設立 ・ユーザー数拡大を目的としたキャンペーンの実施	【令和7年度実績】（実証フェーズ） ・使用促進キャンペーンの実施 ・利用率を増やすためのアプリ改修実施	デジタル政策担当
			【令和6年度】（実証フェーズ） ・他自治体への横展開やマーケティングを担う実装協議会の設立 ・ユーザー数拡大を目指したキャンペーンの実施	【令和7年度計画】（実証フェーズ） ・新機能の検討・調整 ・継続使用促進キャンペーンの実施	【3カ年総括】 スマートウォッチ等による意識醸成から、実装協議会の設立、アプリ改修やキャンペーンを通じた利用率向上等、継続的な仕組みづくりを推進した。	
3	スマート農業	担い手不足の解消や負担軽減に繋がるAI・IoT等の先端技術の導入に向けた課題の解決に取り組む。	【令和5年度実績】（検討フェーズ） ・スマート農業技術は多岐に渡ることから、随時、農業者及び関係機関との意見交換を実施。 ・農林水産省主催の官民連携研究会における個別支援地区として、民間事業者等のサポートのもと、全国先進地区の事例を調査研究。	【令和6年度実績】（検討フェーズ） ・RTK基地局の試行設置を実施 ・市内農業者・関係機関とワークショップを3回開催	【令和7年度実績】（実証フェーズ） ・RTK基地局等の実機を活用した試行調査の実施 ・市内農業者・関係機関とのワークショップを2回開催 ・整備方針の作成	農業振興課
			【令和6年度】（検討フェーズ） ・当市の営農形態に最適なスマート農業推進手法を検討するため、RTK基地局等の実機を用いた試行調査、及び農業者を対象としたワークショップを開催。	【令和7年度計画】（実証フェーズ） ・RTK基地局等の実機を活用した試行調査の実施 ・市内農業者・関係機関とのワークショップ開催 ・整備方針の作成	【3カ年総括】 先進事例の調査研究を経て、RTK基地局の設置や実機を用いた試行調査を実施。農業者とのワークショップを重ねることで、地域の実情に即した整備方針の策定に至った。	

江別市DX推進方針進捗状況一覧

資料4 基本方針④

【 基本方針 : ④DX推進に係る環境整備 】			R 5年度実績 R 6年度計画	R 6年度実績 R 7年度計画	R 7年度実績 3カ年総括	担当課
No	取組事項	内容				
1	セキュリティ対策の徹底	行政手続のオンライン化、テレワークなどを踏まえ、適切に情報セキュリティポリシーを見直すなどし、個人情報等の漏えいが起きないよう職員のセキュリティに対する意識も醸成する。	【令和5年度実績】（実証フェーズ） ・新規採用職員研修として情報セキュリティ研修を年2回実施。 ・事務取扱担当者等を対象に以下の研修を受講。 eラーニングによる情報連携に向けた研修 個人情報セキュリティ講習会（北海道主催） プレCYDERオンラインコース 【令和6年度】（実証フェーズ） ・新規採用職員研修として情報セキュリティ研修を年2回実施。 ・事務取扱担当者等を対象に以下の研修を受講 eラーニングによる情報連携に向けた研修 個人情報セキュリティ講習会（北海道主催） プレCYDERオンラインコース CYDER集合演習の受講	【令和6年度実績】（実証フェーズ） ・新規採用職員向け情報セキュリティ研修の年2回実施 ・事務取扱担当者向け研修の受講 - eラーニングによる情報連携研修 - 北海道主催の個人情報セキュリティ講習会 - サイバー攻撃を想定した演習 など 【令和7年度計画】（実証フェーズ） 上記の取組を継続して実施	【令和7年度実績】（実証フェーズ） ・新規採用職員向け情報セキュリティ研修の年2回実施 ・事務取扱担当者向け研修の受講 eラーニングによる情報連携研修 北海道主催の個人情報セキュリティ講習会 サイバー攻撃を想定した演習 など 【3カ年総括】 新規採用職員向け研修や事務担当者向けeラーニング、実践的なサイバー攻撃演習（CYDER等）を3年間継続。職員及び組織のセキュリティに対する意識醸成を推進した。	情報管理担当
2	テレワークの推進	テレワークにより市職員及び市民のライフステージに合った多様な働き方が実現できるよう環境を整備する。	【令和5年度実績】（一部実施フェーズ） ・江別市テレワーク実施方針（試行）に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、本来の職場を離れても引き続き業務に従事すること、又は職場環境での密接及び密集を回避しながら、業務の継続性を担保することを主たる目的として実施（令和5年度実績：17件） ・市HPに市内ワークスペースを紹介するページを開設 ・市内ワークスペースの紹介チラシを作成 【令和6年度】（一部実施フェーズ） ・令和6年4月1日から、江別市テレワーク実施方針（試行）のテレワークの位置付けを変更し、業務の効率、生産性の向上を図る取組、及び非常時、災害時等の業務継続を担保することを主たる目的として実施（令和6年11月1日時点実績：28件） ・市内ワークスペースの紹介チラシを更新 ・創業セミナーや実践創業塾において、ワークスペースを紹介	【令和6年度実績】（一部実施フェーズ） 【市職員向け】 ・江別市テレワーク実施方針（試行）の位置付け変更による業務効率・生産性向上および業務継続の確保（令和7年3月31日時点実績：37件） 【市民向け】 ・市内ワークスペース紹介チラシの更新 ・創業セミナー・実践創業塾でのワークスペース紹介 【令和7年度計画】（実証フェーズ） 【市職員向け】 ・江別市テレワーク実施方針（試行）の位置付けを継続し、業務効率・生産性向上及び業務継続の確保を目的として実施 【市民向け】 ・利用者の利便性向上を目的としたソフト面の改善（サービスの見直し）を検討し、施設利用方法・料金体系の見直しを実施	【令和7年度実績】（実証フェーズ） 【市職員向け】 ・江別市テレワーク実施方針（試行）の位置付けを継続し、業務効率・生産性向上及び業務継続の確保（令和8年3月31日時点実績：22件） 【市民向け】 ・市内ワークスペース紹介チラシの更新 ・創業セミナー・実践創業塾でのワークスペース紹介 ・利用者の利便性向上を目的としたソフト面の改善（サービスの見直し）を検討し、施設利用方法・料金体系の見直しを実施 【3カ年総括】 【市職員向け】 当初の感染症対策・業務継続目的から、「業務効率・生産性向上」へと位置付けを変更し多様な働き方の実現を推進した。 【市民向け】 市民向けワークスペースの紹介、利便性向上に資する取組みを継続して実施した。	職員課 企業立地課
3	デジタルデバйд対策	高齢者向けのスマートフォン教室を開催するなど、市民がデジタル化の恩恵を広く受けられるようにする。	【令和5年度実績】（実証フェーズ） ・専用車両内でスマホの使い方などを学ぶことができる出張型スマホ教室を116回開催、述べ586人が参加。 ・公民館等を会場に座学形式で受講する集合型スマホ教室を15回開催、述べ61人が参加。 【令和6年度】（実証フェーズ） ・出張型スマホ教室を商業施設（イオンタウン等）で開催。9月末までに16回開催し、延べ143人が参加。 ・集合型スマホ教室を10月からR7年1月にかけて8回開催予定。1月には税務署と連携し、その場で確定申告まで可能なe-TAXの講座を開催予定。	【令和6年度実績】（実証フェーズ） ・専用車両内で学ぶ出張型スマホ教室の開催（68回、述べ263人参加） ・公民館等での集合型スマホ教室の開催（12回、述べ70人参加） 【令和7年度計画】（実証フェーズ） ・「スマホなんでも相談窓口」の開設（5月～翌年2月末までに33回開催） ・市民団体の要望に応じた集合型スマホ教室の開催 ・1月に税務署と連携し、確定申告が可能なe-TAX講座を開催	【令和7年度実績】（実証フェーズ） ・市役所本庁舎でスマホの使い方に疑問・不安のある方に対し、無料で相談を受ける「スマホなんでも相談窓口」の開設（32回、延べ298人参加） ・公民館等での集合型スマホ教室の開催（6枠、延べ38人参加） 【3カ年総括】 出張型・集合型スマホ教室、e-TAX講座の実施を経て、より広範囲の「スマホなんでも相談窓口」開設につなげ、デジタルディバйдを解消のための取組を実施した。	デジタル政策担当